

あなたの**肝臓**のために

肝炎ウイルス検査を

受けましょう!



厚生労働省 肝炎総合対策マスコットキャラクター

「かんちゃん」

❗ 肝臓がんの原因

日本の肝臓がんのほとんどが肝炎ウイルス（B型、C型）の持続感染によるものです。

❗ 自覚症状がない

肝炎ウイルスに感染してもほとんどの場合、自覚症状がありません。そのため、気づかないうちに病気が進行し、重篤な症状になってから発見される場合も稀ではありません。

❗ だから今すぐ受検

検査は簡単な採血でおこないます。

検査を受けるには?

- お住まいの市町での健診
- 県保健所（支所）または県委託医療機関でのウイルス検査

▶ 検査実施医療機関は広島県ホームページより

肝炎ウイルス検査 でご確認いただけます。

※広島市、呉市、福山市にお住まいの方は各市町の担当課にお問い合わせ下さい。

感染がわかったら?

肝炎の治療は進歩しています。

医療や薬の進歩により、専門の医療機関で適切な治療を受けることで、肝硬変・肝がんへの悪化を防ぐことができます。

【主な治療法】抗ウイルス療法（インターフェロン治療、核酸アナログ製剤治療）、肝庇護療法

治療には **医療費の助成制度を利用できます!**

「B型またはC型肝炎のインターフェロン治療」および「B型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療」について県に認定された方は、世帯の所得に応じてひと月当たりの医療費が軽減されます（自己負担限度額：原則1万円（上位所得者は2万円））。詳しくは広島県薬務課までお問い合わせください。

肝疾患相談室

診療・治療などに関する無料相談室を設置しています。お気軽にご相談ください。

- ・広島大学病院外来棟 1階 082-257-1541（直通）
（平日 10:00～16:00）
- ・福山市民病院本館 1階 084-941-5151（内線3146）
（平日 8:30～17:15）

お問合せ



広島県

健康福祉局 薬務課

〒730-8511 広島市中区基町10-52

TEL: 082-513-3078

mail: fuyakumu@pref.hiroshima.lg.jp